

## 平成 19 年（2007 年）の箱根山の火山活動

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

### 2007 年の活動概況

#### ・噴気などの表面現象や熱の状況（図 1、図 2、図 3）

環境省インターネット研究所の箱根・大涌谷カメラでは大涌谷の噴気等に特段の変化はありませんでした。

2 月及び 12 月に行った現地調査では、2001 年群発地震活動直後より大涌谷北側斜面の沢沿いに出現し上湯場に移動し拡大した噴気地熱帯に、新たな噴気噴出箇所は確認されず、熱異常域の分布状況にも特段の変化は認められませんでした。

5 月及び 12 月に行った上空からの観測（神奈川県の協力による）12 月に行った現地調査では、大涌谷及びその周辺での噴気などの表面現象や地表面温度分布<sup>1)</sup>には、昨年までと比べて特段の変化はありませんでした。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

#### ・地震や微動の発生状況（図 4、図 5）

1 月に駒ヶ岳の南東約 2 km 付近の浅い所を震源とするマグニチュード<sup>2)</sup>2.3 の地震が発生し、箱根町湯本で震度 1 を観測しました。また、2 月には、駒ヶ岳の南西側を震源とする地震がやや増加しました（最大の地震はマグニチュード<sup>2)</sup>2.1）。

箱根山では 2001 年 6 月から 12 月にかけて、駒ヶ岳周辺を震源とする活発な地震活動（最大地震 M2.8）があり、その後も年に 1 回程度の割合で一時的な地震の多発を繰り返しています。

上記以外の期間は、地震の発生回数は少なく静穏に経過しました。

2) マグニチュード (M) は地震の規模を表します。資料中の M は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

---

この資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000(行政界・海岸線)』『数値地図 50m メッシュ(標高)』を使用しています(承認番号: 平 17 総使、第 503 号)。

## ・地殻変動の状況（図 6）

気象庁の体積歪計<sup>3)</sup>や神奈川県温泉地学研究所の傾斜計<sup>4)</sup>による地殻変動観測では、特段の変化はありませんでした。

3) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがあります。

4) 地面の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがあります。

## 2007 年の噴火予報及び噴火警報の発表状況

発表日時	噴火警報または噴火予報	活動状況及び予報警報事項
12月1日 10時20分	噴火予報（平常）	火山活動は、これまでと変わらず静穏な状況で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られない。

注) 平成 19 年 12 月 1 日より噴火警報及び噴火予報の発表を開始し、それに伴い従来の緊急火山情報、臨時火山情報及び火山観測情報は廃止しました。

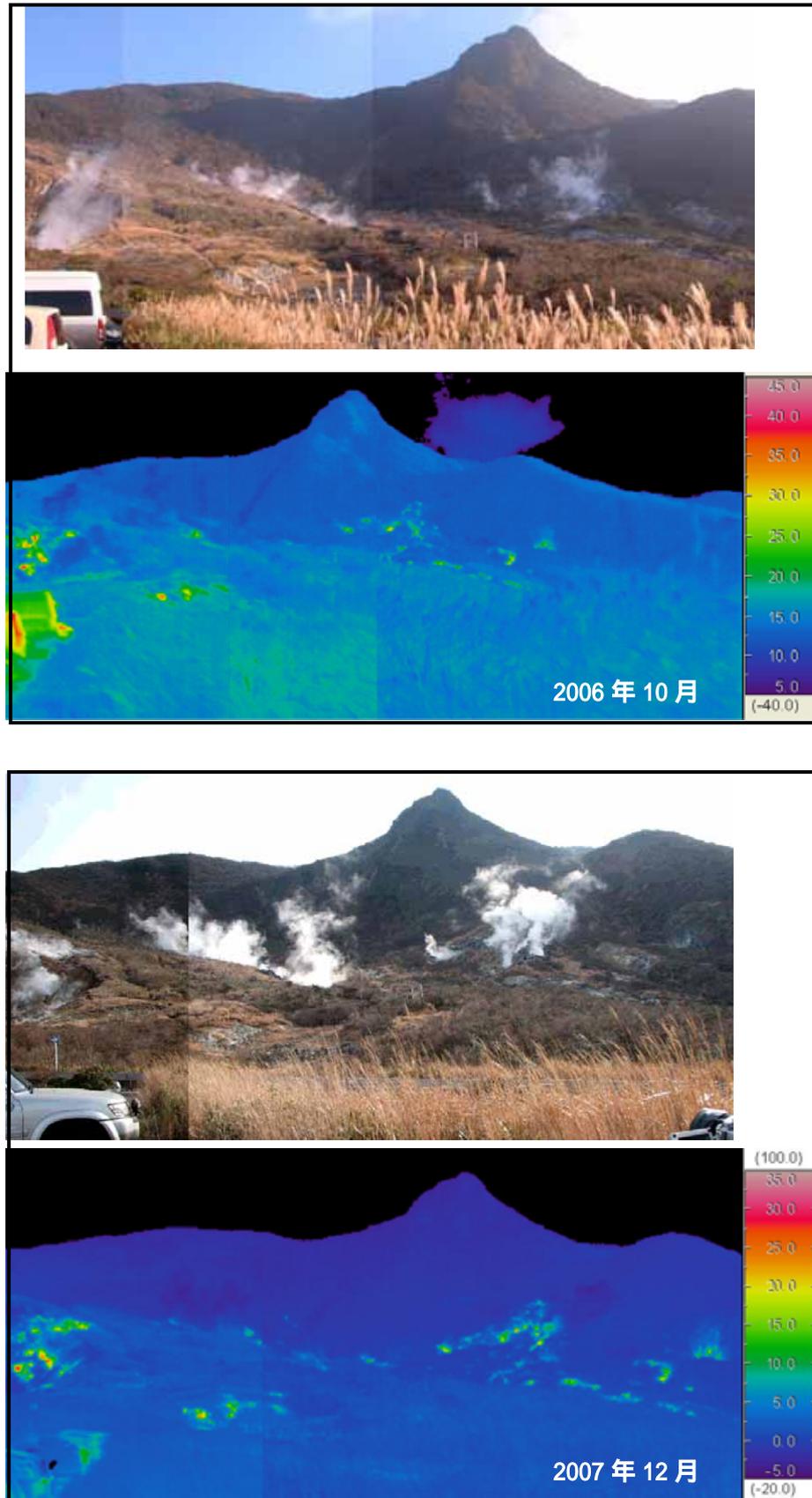


図1 箱根山 大涌谷全景（上段）と大涌谷全体の地表面温度分布<sup>1)</sup>（下段）

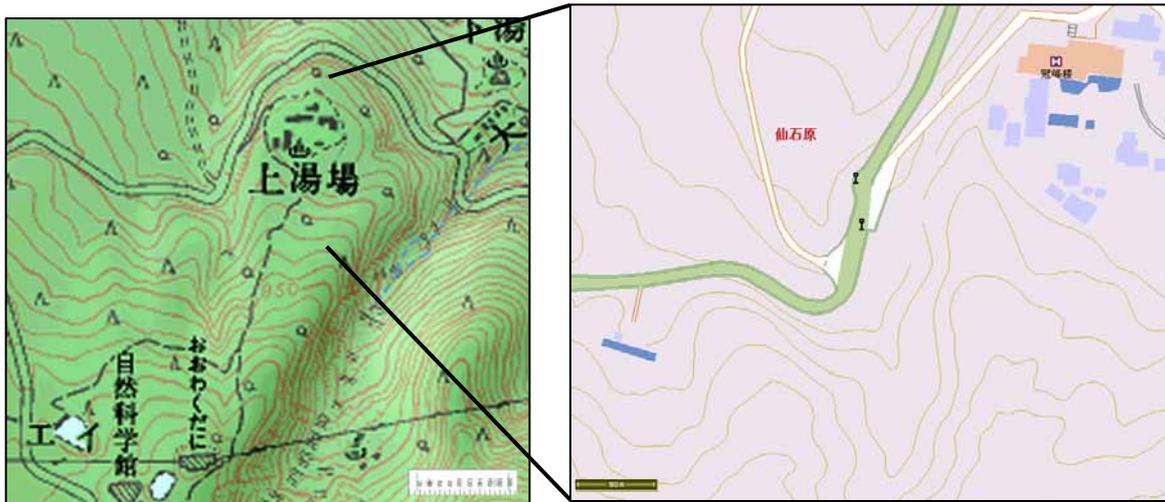


図 2 箱根山 上湯場周辺図およびその拡大図

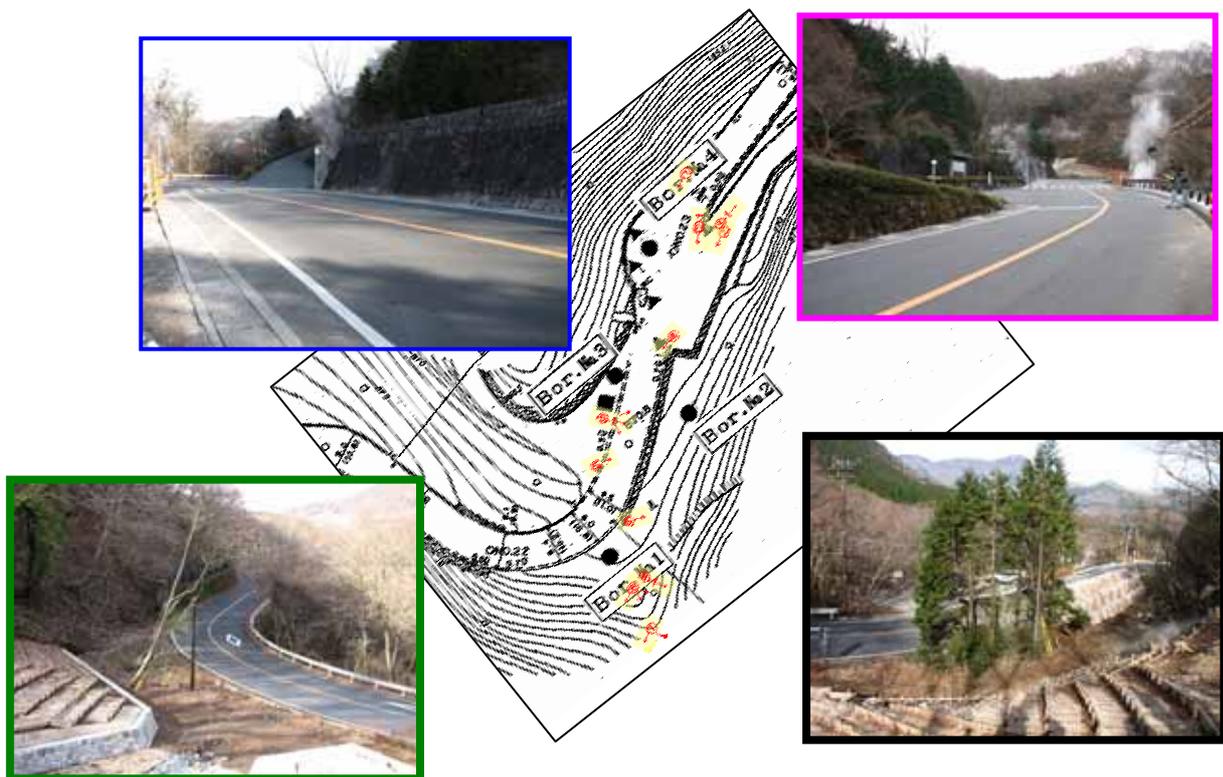


図 3 箱根山 上湯場 県道 734 号線付近の状況

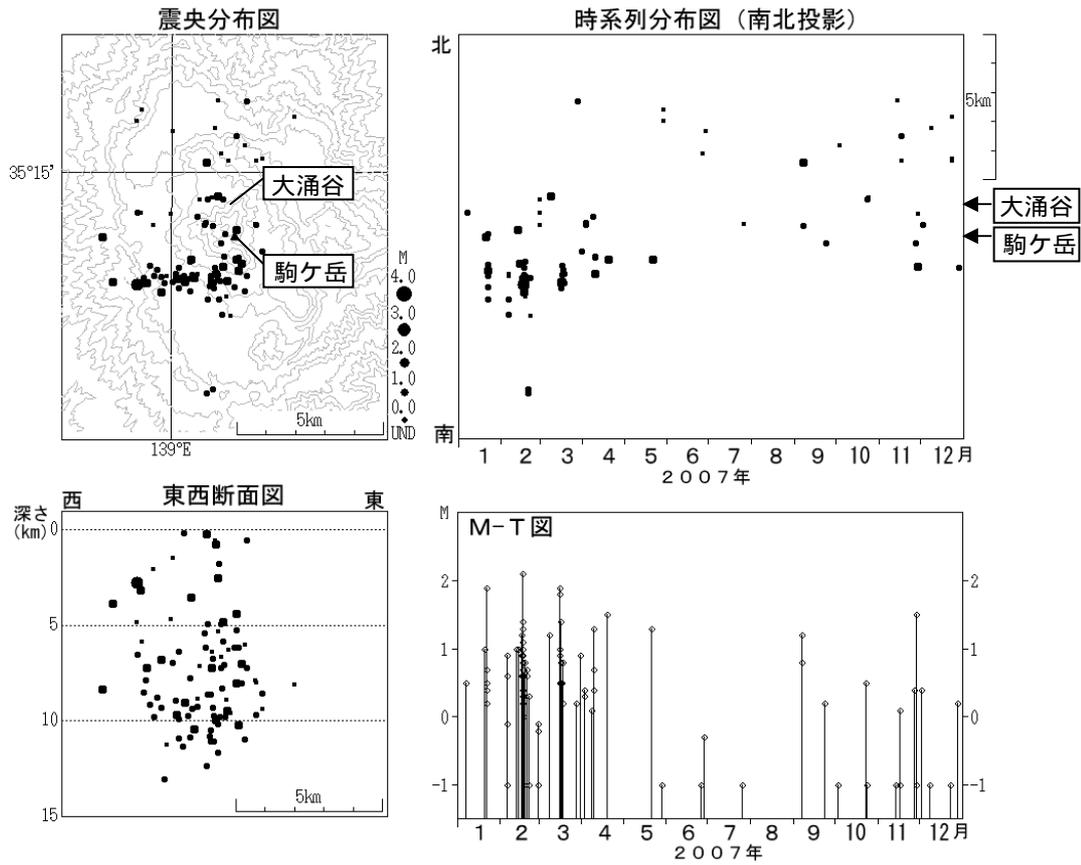


図 4 箱根山 地震活動経過<sup>2)</sup> (2007 年 1 月 1 日 ~ 2007 年 12 月 31 日)

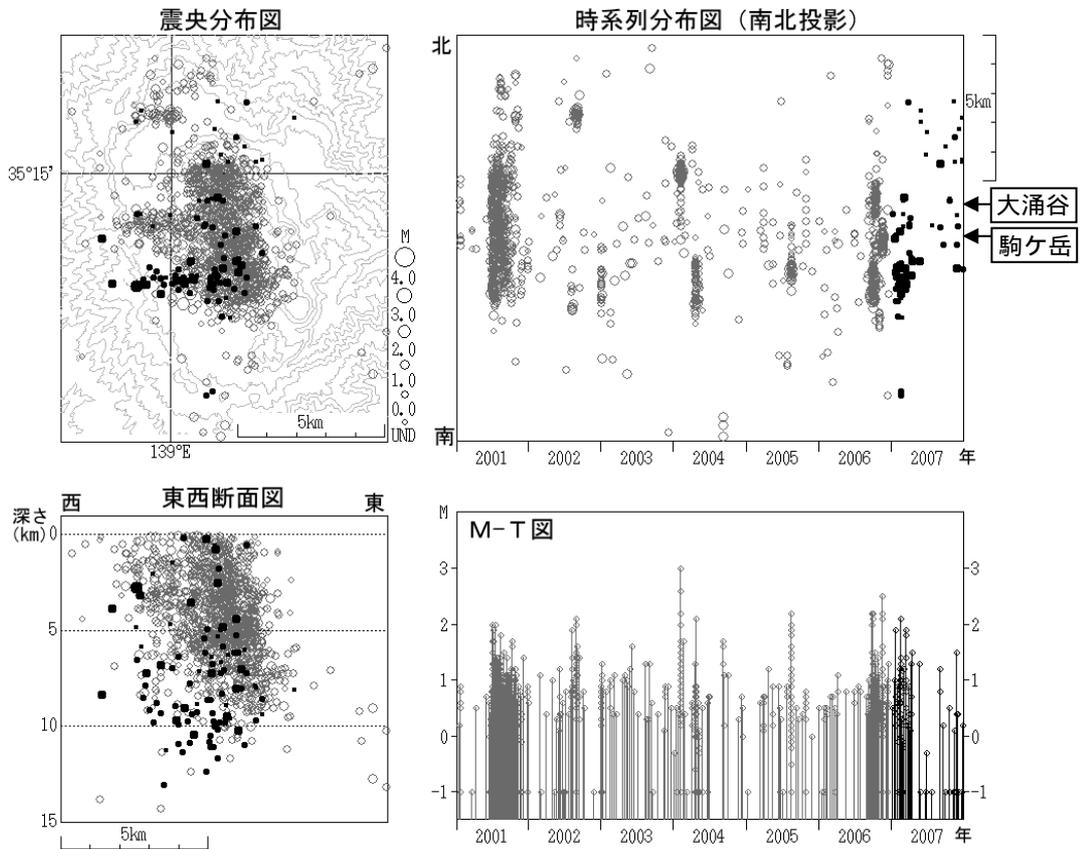


図 5 箱根山 地震活動経過<sup>2)</sup> (2001 年 1 月 1 日 ~ 2007 年 12 月 31 日)

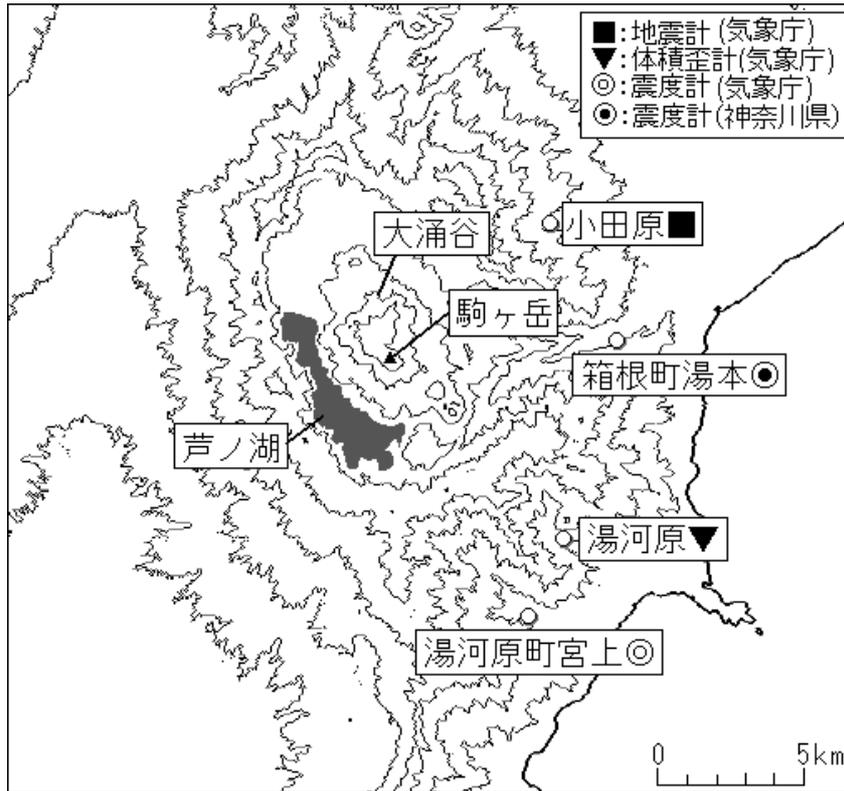


図 6 箱根山 観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）

表 1 箱根山 観測点一覧

種類	地点名	位置			設置高 (m)	備考
		緯度	経度	標高		
地震計	小田原	35° 16.0'	139° 05.1'	380	0	短周期 3成分
震度計	湯河原町宮上	35° 08.8'	139° 04.8'	200	0	
体積歪計	湯河原	35° 09.8'	139° 05.6'	187	-150	